

福祉の現場の第1線で活躍しているからわかる仕事の魅力。

セミナーでは札幌近郊で働く、9名の職員のリアルな声と、

福祉の世界で活躍を目指し学んでいる学生の熱い思いをお届けします。



障がい者支援施設 生振の里
櫻井 健太 さん

01
職員 File

元々は幼稚園教諭を目指して短大へ。在学中のカリキュラムで障がい者実習があり、福祉の世界に気持ちに移り現在の職場に就職。保育士、幼稚園教諭の資格取得のために学んだことも生かしながら頑張っています。



地域活動支援センター彩
加藤 百萌花 さん

02
職員 File

心理学部出身で大学院に進学してカウンセラーになろうと考えていましたが、福祉の授業を受け「誰もが幸せに暮らせる社会の実現」という考え方に触れて感銘。早く現場で実践したい思いで就職の道を選びました。



社会福祉法人 札幌報恩会
成田 大将 さん

03
職員 File

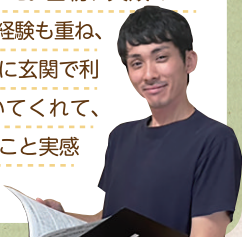
父が障がい者施設で働いていたこともあり、話を聞いたり働いている場面を実際に見て、自分も同じ仕事をしたいと考えるように。現在は入所施設で日々の生活支援を担当。利用者さんと一緒にレクリエーションも行っています。



障がい者支援施設 新しのつ幸生園
高橋 周利 さん

04
職員 File

前職はお肉屋さん。何か手に職をつけたいと思い、まったく違う異業種に飛び込みました。当初、失敗のありましたが今は経験も重ね、私が出勤するときに玄関で利用者様が待っていてくれて、必要とされていること実感しています。



特別養護老人ホーム 愛誠園
安達 香澄 さん

05
職員 File

基本的に笑顔を絶やさず、どのようにしたら入所者さんが楽しく過ごしていただけるか雰囲気づくりに心がけています。現在従事している高齢者分野だけではなく、障がい者分野の資格の取得も目指しています。



指定障がい者支援施設 とみがおか
小笠原 大晃 さん

06
職員 File

小学1年生から現在まで野球をやっていて、高校3年の夏には北海道大会準優勝、大学では全国ベスト8に。野球も福祉もチームワークが大切。施設内のそれぞれの担当者と協力し、最適な環境提供に向けて取り組んでいます。



障害者支援施設 銀山学園
仁部 亮平 さん

07
職員 File

介護の仕事をしていて利用者さんから感謝されることは、もちろん嬉しいことですが、保護者の方から「いつもありがとうございます」「ずっと担当していて欲しいです」と言われたことがあり、本当にこの仕事のやりがいに繋がっています。



北広島市みなみ高齢者支援センター
千葉 ゆか さん

08
職員 File

社会福祉士、精神保健福祉士の資格をもち、現在の職場では「介護予防プランナー」「生活支援コーディネーター」をしています。利用者様が住み慣れた家で「まだこの家で暮らしていけるんだよね」と感謝されたことは喜びです。



生活介護事業所 グリンハイム
橋堀 聡 さん

09
職員 File

いまは生活介護事業所という障がいをお持ちの方が通われているデイサービスで管理責任者を任されています。さらに札幌市南区の自立支援協議会にも携わっていて、地域や事業所間の橋渡し役もしていて魅力を感じています。



せいとく介護こども福祉専門学校
こども福祉科2年 桑島 彩綺 さん

01
学生 File

児童養護施設という施設があることを知り、子供達の笑顔の一つでも増やしたいという想いからこの学科に。職場の仲間に信頼されるような仕事をしたい。



せいとく介護こども福祉専門学校
こども福祉科2年 土田 萌恵 さん

02
学生 File

人の笑顔や成長していく姿を傍らで見えられる仕事がしくて、こども福祉科に進学。福祉の現場のお話をいっぱい聞きたいです。



せいとく介護こども福祉専門学校
介護福祉科2年 戸田 唯菜 さん

03
学生 File

中学時代に吹奏楽部で介護老人保健施設に演奏に行った時、入所者さんから「ありがとう」の言葉に感謝される介護福祉士を目指します。



せいとく介護こども福祉専門学校
介護福祉科2年 野村 菜月 さん

04
学生 File

母が重度知的障がい施設で働いていたことがきっかけで、福祉の世界に興味を持ち介護福祉科を選択。自分の将来につながるトークをしたい。

